



## 年末手当に対する若手の声⑧

### 会社に対する思い

- ・これ以上働きがいを感じられなくなるとこの会社で働く意味は何なのかと考えてしまう。社外の人と話す機会もあるが、社外の方々は一貫して「お世話になっています。」「仕事は大変そうですね」等の労いの言葉を多く頂き、その声を頂くぐらいの仕事をしているのだと自覚もある。今後のモチベーション維持の為に満額回答を強く求める！！
- ・仕事は好きだが会社は好きではない。色々とがっかり。
- ・当社の根幹は鉄道だ。その鉄道事業に歯を食いしばって支えている社員のために満額回答を強く求める。
- ・残念な会社。この一言。電車が好きでなければこの会社で働く意味は一切ない。
- ・職場でうどんをつくるなど言っていた会社が今や副業でそばをつくれと言う。変な会社になったと思う。
- ・後輩たちがかわいそう。仕事にプラスして業研、マイプロ…。でも一生懸命真面目にやっている。こんなに頑張っているのに何で評価されないのか。はっきり言って鬼。
- ・いつまでも我慢ではそのうち人材流出や人材確保の困難、現業機関のモチベーション低下を招き国鉄末期の状態になるのでは。
- ・これ以上手当を削られるのはきつい。モチベーションも上がらない。コストカットは大事だが、手当削減の前にできることがあるはず。待遇面を充実させることは社員の忠誠心や勤労意欲の向上につながり、長い目で見れば会社の成長に繋がると思う。最前線で奮闘している社員の努力に少しでも報いるべき。

**社友会ではこのような声があっても交渉できない！！  
労働組合に結集し、年末手当の満額回答を勝ち取ろう！！**